

令和3年駒ヶ根市教育委員会 第6回定例会 会議録

- 1 告示年月日 令和3年5月14日（金曜日）
- 2 開催年月日 令和3年5月25日（火曜日）
- 3 開催場所 駒ヶ根市役所 保健センター2階 大会議室
- 4 開会時刻 午後2時00分
- 5 閉会時刻 午後2時38分

6 議題

○審議案件

議案第1号 駒ヶ根市子ども・子育て会議委員の任命について

議案第2号 駒ヶ根市図書館協議会委員の任命について

議案第3号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について

○協議事項

なし

○報告事項

（1）行事共催等承認申請の専決処分について

○その他

（1）子育てサポーター養成講座について

7 出席者

教 育 長 本 多 俊 夫

教育長職務代理者 福 澤 惣 一

委 員 唐 澤 浩

委 員 氣賀澤 知 保

委 員 木 下 健 一

○委員以外で会議に出席した者

北澤教育次長、赤羽子ども課長、水野学校教育係長、山田子育て家庭教育係長、
山本生涯学習係長、吉澤教育総務係、馬場教育総務係

○傍聴者：1人（うち報道機関 1人）

8 会議のてん末

1) 開会宣言 本多教育長（午後2時）

2) 教育長報告

○本多教育長 新聞でも報道されております。駒ヶ根市内でもコロナ発生、また上伊那はレベル5ということで、昨年以上にコロナに対して自分自身の行動を自制したり、対話を慎重にしなければいけないなあというところでもあります。

「慎独^{しんとく}」という言葉がございます。「慎む」、そして「独立」の「独」と書きますけれども、誰も見ていなくても、たった一人でも自分の行動を慎むという非常に気高い言葉ですけれども、これがやっぱり大事なのかなというふうに思います。しかも冷静に、保健所の指導の下、どう対応したらいいかなあというふうに思っておるところであります。

それにつけても、今ちょうど新緑のいい時期で、そこに一茶の句も載せておきましたけれども、巷はコロナでも、自然はそんなこととは全く無関係で、いつものようにすばらしい緑色、芽吹きすばらしい様相を呈しておるところでございます。

そうはいっても、1年生の入学以来——小学校1年生ですが、もう2か月たつわけですが、本当に若竹のように伸びていると、そんな情報も私のほうに届いております。そのまま真っすぐ伸びていってほしいものだなあと、そんなふうに思います。

今回、私のほうで読んだ本の掲載が多くなって申し訳ありませんけれども、「先達の教え」のところ、鈴木秀子さんが井伏鱒二という方——もしかしたら皆様方も教科書でやったかもしれませんが、「山椒太夫」ということを引き合いに出してありまして、その点線の四角の中の最後の丸ですけれども、「いつの間にか体が大きくなって岩屋から出られなくなった山椒魚の姿は、頭の中で自己中心的な思考が膨らみ、思い込みに囚われて正しく物事を考えることが出来なくなった私たちの姿と同じだ。」と痛烈に書かれておるわけですが、これはユーモラスなタッチで100年前にもう小説として井伏鱒二が書いているというあたりに、ああ、こういうようなところを見ると、ますます先達の教えは大事なことだなと、そんなことを思うところでもあります。

その点線の四角から下の6行目あたり、我々がやっぱり日常的にぶれない自己を何としても確立したいものだなあということでもあります。

最後の行、それにつけても、自他の弱さを受け入れることはいかに「言うはやすく行は難し」かなというふうに思います。

ちなみに、コロナのワクチンの接種を、裏から手を回して先にやってくれやなんていうような、ああいうのは自我であります。自己をやっぱり確立できていない「みぐさい」姿だなあと考えますけれども、ああいう姿を私は子どもには見せたくないなあと思いますが、大人が襟を正していかなきゃいけないなあ、そんな思いでございます。

次に、「一流人に学ぶ」なんて書いてありますけれども、宮本亞門が20代の若者たちに向けたエッセーというか、言葉の中に、ちょっと内から育つことに関わって——最後の行です。「演出家になることばかり考えていた僕は、一番大事なポイント、“何のために”という視点が抜け落ちていた。」というふうに書かれておりました。

先だって駒ヶ根市が県の市町村対抗駅伝で優勝しましたが、私がそのときに言ったのは——

子どもたちが目標を言うんですね、「優勝したいと思います。」「いい記録を出したいと思います。」

「前の人より早く行きたいと思います。」と、それは目先の目標ですけど、何のためにあなたは走るのかということを明確に持つと、走る気持ちが全く違ってくるといふこと、そんな話をちょっとしました。たまたま優勝したわけで、まさにみんなが目的を明確に持っていたんじゃないかという話をしたところであります。

やっぱり大阪のほうの中学の陸上の先生で、7年間で中学の全国大会関係で10回優勝させた顧問の先生方がそのことを言っています。目標達成のためには、やっぱり子どもの胸にしっくりと落ちるように目的をしっかり持たせることによって目標は達成しやすくなると。

ちなみに、どんな分野でも10代のうちに1万時間練習に費やせば本物になれるチャンスをつかむことはできるそうです。1日8時間で大体3～4年かかる計算だそうです。そのくらい頑張ると誰でも一流の入り口には立てそうだというふうであります。

「ちょっと立ち止まって」のところでございます。

皆様方はよく御存じだと思いますが、小平奈緒さんが伊調馨さんと対談していたところ、「伊調さんの教えを感じ、掴み取れるかどうかはその選手次第で、本人に自分はこうなりたい、成長したいという意志がないと難しい。」と。次に、「自分に足りないものを受け入れる素直さ、もっと成長し続けたいという気持ちがその人を突き動かしていく。」これは、まさに内から育つ駒ヶ根市の生き方と全く同じだなあというふうに思います。「笛吹けど踊らず」という人間をつくっては絶対にいけないなあというふうに思っております。

最後でございます。「後記」というところです。

「ぎょうげ そうおう行解相応」という言葉がありますが、私、歩いて通うように心がけております。市役所に来るまでに大人も含めて15人ほどに行き会いますが、「おはよう。」の挨拶が（強いるんじゃないくて、）まあ気楽にできるようになりゃいいな、ただそれだけの思いで、自分の満足でやっています。最初は、「おはようございます。」と言ったら、このじじいは誰だというような顔をされました。今もちょっとされます。特に女の子たちは警戒心が強いです。不審者への対応はしっかりと行き届いているなあと思いますが、そうはいつでも、状況も判断したら挨拶ぐらいできるだろうなあと思うんですが、それは絶対に言いません。

「ぎょうげ そうおう行解相応」と下から3行目に書いてありますが、言うこととやっていることが一致するといふことは、俺も「挨拶は大事だぞ」と言うだけじゃなくて、やっぱり説教を垂れる前にやりたいなあといふことですから、向こうが応じてくれて感化するまでには10年くらいかかるかなあというふうな気持ちであります。でも、最近は、にこにこして「おはようございます。」と返ってくる数がうんと増えてきて、今朝もとても気持ちよく来ました。意識的に思春期でうざったい顔をされる中学生の女子にも挨拶しています。今、何か知らないけど頭がはげているじじいに毎朝挨拶されるよなんてうわさになっているかもしれませんが、そんなことはどこ吹く風だなあと思っております。ちょっとずつちょっとずつ感化できればいいかなあ、そんな気持ちであります。

今日も盛りだくさんであります、お世話になります。よろしくお願いします。

3) 事業報告及び事業計画

○北澤教育次長から、事業報告及び事業計画について説明がされた。

〈質疑・意見等なし〉

4) 審議案件

議案第1号 駒ヶ根市子ども・子育て会議委員の任命について

○山田子育て家庭教育係長から説明がされた。

〈説明の要旨〉

それでは5ページを御覧いただきたいと思います。

駒ヶ根市附属機関に関する条例第2条の規定に基づいて、駒ヶ根市子ども・子育て会議委員として下記の方を任命するものです。

太字、ゴシックで表示してある方が今回任命をお願いする方です。

各選出区分から新規の方は9名でお願いしたいと思います。

任命年月日は、下にありますように本年4月1日。

任期は2年でありまして、令和3年4月1日から令和5年3月31日までとなっております。

よろしくお願いします。

〈質疑・意見等なし〉

○本多教育長が諮り承認。

議案第2号 駒ヶ根市図書館協議会委員の任命について

○山本生涯学習係長から説明がされた。

〈説明の要旨〉

お願いします。

課長の都合が悪くて代理ですが、よろしくお願いします。

6ページをお願いします。

駒ヶ根市図書館協議会委員の任命についてということで、図書館法第14条及び駒ヶ根市附属機関に関する条例第2条の規定により下記のとおり駒ヶ根市図書館協議会委員に任命するものでございます。

任期が2年ごとになりまして、本年度、委任の年になりまして、今年の4月1日から令和5年3月31日まで2年の任期となっております。

表の一番右の「継続」の欄に丸がありますが、丸の方は継続になります。丸のない方は新規でお願いしてあります。

よろしくお願いします。

〈質疑・意見等の概要〉

○唐澤委員 先ほどの子ども・子育て会議もそうですけど、任期が4月1日からですけど、これは毎回こういうふうでしたか。この時期に任命でしたか。

○山田子育て家庭教育係長 子ども・子育て会議に関しましては、基本的には毎年4月1日の任

命ということになっております。各役職というか、充て職の方もいらっしゃるしまして、2年任期ではありますが、例えば小学校のPTA会長さんですとかは1年任期で交代をしていくという形になっております。一応単位としては1年単位で更新をしていくという形になっております。

○本多教育長 それが今でなくて、なぜ4月1日からということですか。

○唐澤委員 いや、4月1日からの任命のものを今やるのはどうしてかということです。

○山田子育て家庭教育係長 各団体のほうでなかなか4月1日までに決まらないこともありまして、期間が多少ずれ込んでいるというような状況であります。

○山本生涯学習係長 こちらも同様の理由です。

○赤羽子ども課長 特に学校関係のPTAだとかはなかなか決定できないこともあって4月早々にということもありました。入学式が終わらないと決まらないということもございます。

○唐澤委員 分かりました。

○本多教育長 ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長が諮り承認。

議案第3号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について

○本多教育長から説明がされた。

〈説明の要旨〉

例年、7ページが鏡でございまして、9ページから11ページまで、了解事項と覚書ということで、昨年、一昨年もかいつまんで説明をしたかと思えます。

項目ごと全部は追えませんけれども、了解事項のところの「1 教職員の任免その他の進退について」ということで、(1)が校長の任免です。校長の場合を読みますと、「校長の任免その他の進退については、市町村の実情を勘案し全県の立場に立って、長野県教育委員会と市町村教育委員会とが十分連絡の上、内申案を得て速やかに事務処理を行うものとする。」と。

(2)(3)の副校長、教頭も同じようでございます。

(4)は「教職員(校長を除く。)の任免その他の進退については、校長の意見を尊重する。」というふうにされております。

(5)は新規採用についてです。

それと、大きな2番は人事異動の基本方針ということでございますが、市町村教委と県教委で両者協力してというようなことでございます。

取扱いについての覚書は、次のページのほうに書いてございます。

10ページのほうの覚書にさらに細かいことが書いてございます。

今年も例年と特に変わっているということは一つも聞いておりませんので、昨年に準じてということでございます。

私が読むことは行いませんけれども、また時間あるときにお目通しいただければと思います。

ちなみに、11ページの最後にも書いてございますが、「令和4年度の人事異動については、」とか、「令和4年度人事異動の最終決定は」と書いてございますが、令和4年度の人事異動についてもうスタートしているよということです。今は令和3年度ですが、それはもう終わっております

ので、令和4年度の人事異動ということ입니다。

校長会で毎年言われるのは、「人事は4月から」という合い言葉がございます。スタートした直後にもう人事は始まっているよということです。

ちなみに、参考ですけど、他県は教育委員会が人事を一手に引き受けている県がかなりございますが、現場を知らない者が人事を担当するとはどういうことかということで、長野県方式を大分採用しているようなところ、例えば神戸だとか、そういうようなところが出てきております。長野県は全県1区で、本当に北から南、西から東まで、非常に幅広でございますので、血の通わないような人事のことはなかなかできないということで、県教委がそれぞれの校長会また市町村教委等に相談をしたり依頼をして共にやっていくということですので、大筋はそんなようなところですので、御理解いただければと思います。よろしくお願いします。

〈質疑・意見等なし〉

○本多教育長が諮り承認。

5) 協議事項

なし

6) 報告事項

(1) 行事共催等承認申請の専決処分について

○馬場教育総務係から説明がされた。

〈説明の要旨〉

12 ページをお願いします。

一番下の欄外にも書いてございますが、受付番号3-009と3-010は、新型コロナウイルスの影響で中止となったものです。

3つ目の3-011から御説明します。

3-011は上伊那水泳協会による誰でも参加できる水泳大会で、一昨年度も後援実績があるものです。

3-012は岡谷市に拠点のあるカノラータ・オーケストラによる定期演奏会で、昨年度も後援実績があります。

3-013は飯島町に拠点のあるアクターズゼミナール伊那塾というNPO法人によるミュージカル教室で、一昨年度も後援実績があります。

3-014は長野県中学校空手道連盟主催による空手道選手権大会で、昨年度も後援実績があります。

3-015は新規の案件ですが、駒ヶ根ソフトボール協会によるソフトボール大会で、審査基準に適合していると認められます。

3-016は新規の案件で、駒ヶ根市立博物館が行う登戸研究所に関する展示会で、教育委員会との共催を申請してきているものです。審査基準に適合していると認められます。

3-017は親と子学び育ちの会まねきnekoという団体が孤立した子どもたちに交流の場を提供するという行事で、昨年度も後援実績があります。

3-018 は駒ヶ根市選挙管理委員会が選挙啓発ポスターを募集するもので、毎年後援しております。

3-019 は新規の案件ですが、元教育委員の北原美香さんを中心とした邦楽の演奏会で、審査基準に適合していると認められます。

3-020 は駒ヶ根市スポーツ協会バレーボール部主催によるバレーボール大会で、一昨年度も後援実績があります。

3-021 は株式会社ニシザワ主催による読書感想文コンクールで、毎年後援しているものです。

3-022 は新規の案件ですが、伊那市にあるエムスターズという団体が小学生を対象に行う参加費無料のチアリーディングの体験会で、内容は審査基準に合致すると認められます。

3-023 は長野県学校合唱大会の南信地区のブロック大会で、一昨年度も後援実績があります。

3-024 は赤穂高校の定期演奏会で、一昨年度も後援実績があるものです。

説明は以上です。

よろしくお願いします。

〈質疑・意見等なし〉

7) その他

(1) 子育てサポーター養成講座について

○山田子育て家庭教育係長から説明がされた。

〈説明の要旨〉

それでは、13 ページを御覧いただきたいと思います。

本年も、昨年同様、子育てサポーター養成講座といいまして、子育てを応援してほしい人と子育てを応援したい人が会員となりまして、会員相互で支え合うファミリーサポートセンター事業というものをやっております。いわゆる有償ボランティア養成の講座のほうを毎年行っています。本年も6月23日を皮切りに、専門職または病院のドクター、看護師の方々にそれぞれ来ていただきまして、子育てサポーターに必要な知識を高めていただくことを目的に7日間の日程で開催をしている講座です。

毎年10名程度の定員を設けておりますが、なかなか10名という定員には達しなくて、毎年6～7名程度の開催にとどまっておりますけれども、引き続き、こういった託児のサービスは、ニーズも高まっております。駒ヶ根市も子育て全力応援という形でやっておりますので、託児のサポーターの方を広く養成しまして、お互いに支え合いながら楽しい子育て生活を送っていただくために、このような養成講座を今年も開催します。

14 ページには、「子育てサポーター募集中!!」ということで、ファミリーサポートセンターとは何かということから、いろんなQ&Aといいますが、どういう流れで派遣されるのかといった流れも書いてあります。よろしくお願いします。

以上です。

〈質疑・意見等の概要〉

○北澤教育次長 今、会員は何人ぐらいですか。

○山田子育て家庭教育係長 会員は、利用会員と協力会員というのがありまして、それぞれ130

人～150 人います。

ただ、実動部隊としましては、会員さんの高齢化が進んでおりまして、実際に託児に行ける人たちというのは限られております。そこで、このサポーター養成講座で若い人にもさらに会員として協力いただけるように御協力をお願い申し上げているところであります。

○本多教育長 サポーター養成証明書みたいなものは出ますか。

○山田子育て家庭教育係長 証明書が女性労働協会というところから出ます。

8) 閉会宣言 本多教育長（午後 2 時 3 8 分）

駒ヶ根市教育委員会会議規則第25条の規定によりここに署名する。

令和 年 月 日

駒ヶ根市教育委員会

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員
